

日本産科婦人科学会婦人科腫瘍委員会 婦人科悪性腫瘍登録事業及び登録情報に基づく 研究参加について

当院では日本産科婦人科学会の研究である「日本産科婦人科学会婦人科腫瘍委員会 婦人科悪性腫瘍登録事業及び登録情報に基づく研究」に参加しています。本研究は日本産科婦人科学会会員が所属する多くの施設で行われている臨床研究であり、①わが国における婦人科癌（子宮頸癌、子宮体癌、卵巣悪性腫瘍、卵巣境界悪性腫瘍）の進行期・病理学的分類 ②診断・治療の実態 ③治療成績（5年生存率） ④登録罹患数や治療指標などの年次推移 ⑤これらの研究成果を患者や社会が利用しやすい情報として提供する方法等について解析・公表し、婦人科癌患者の医療・福祉に貢献することを目的としています。

対象となるのは当院で婦人科癌（子宮頸癌、子宮体癌、卵巣悪性腫瘍、卵巣境界悪性腫瘍、外陰癌、膣癌、子宮肉腫、子宮腺肉腫、絨毛性疾患）と病理学的に診断された方です。

調査項目は年齢、進行期、組織診断、治療開始年月日、治療法などの医学的情報で、3年後、5年後の予後報告として、治療後の健否および最終生存確認年月日の登録も行います。

診療情報は、通常の診療経過の中で得られたもので、研究自体を目的として収集されたデータではありません。個人を特定する情報は削除、匿名化し、大学病院医療情報ネットワーク（UMIN）インターネット医学研究コーディネーティングセンターに送付され、厳重に管理されます。個人情報などが漏洩しないようプラバシーの保護には細心の注意を払います。また、今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告されることがあります。

これらの研究課題のすべては、日本産科婦人科学会臨床試験審査委員会ならびに済生会福岡総合病院倫理委員会での審査で承認を得られたものです。

登録情報を活用して国際比較研究を行い、わが国の婦人科癌及び婦人科癌医療の特徴と海外との共通点・相違点等を明らかにすることは従来から行われてきましたが、今後さらに必要性・重要度は増大していくものと考えられます。本事業に基づく研究は、今後も婦人科がん患者と社会に貢献しうるものであり、患者の皆様のご協力のほどよろしくお願いいたします。

この登録・研究のデータベースへの登録を希望されない場合には、お手数ですが主治医または下記へご連絡ください。その場合も、診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。

連絡先：済生会福岡総合病院 産婦人科 坂井邦裕
電話 092-771-8151